

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスちあふる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

25日

法人（事業所）理念	子どもたちの得意を伸ばす、安心できる居場所づくり、共生社会の実現				
支援方針	こころとからだに働きかける多彩なソーシャルスキルトレーニングで子どもたちの得意を伸ばします。子どもたちや保護者様との信頼形成を重視し、誰もが心地よさを感じ、安心できる居場所づくりを行います。子どもたち一人一人の人格、多様性を尊重し、認め合い、支え合うことができる社会の実現を目指します。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがい検温を毎回時に行う事でルーティン化し自立を目指します。また、その日の体調を保護者様と連絡システムでやり取りを行い把握しておき、その体調に合わせた設定活動を行う様にしています。 ・身だしなみ、整理整頓、掃除、使った物の片付け等の生活スキルの向上をの支援をします。 ・クッキングの買い出し、調理を行い楽しく食事が出来る事を経験していきます。また、外食体験で食事マナー、姿勢保持、お箸の持ち方などが正しく使える様に支援していきます。本児との関わる中で、生活の事、学校での事、家族の事、家族や友達には話さずらい事を話せるような環境・関係作りを心掛けています。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りの療育グッズを使った個別課題の中で微細運動を行い生活動作に困らない様にトレーニングしていきます。 ・公園へお出かけして鬼ごっこをしたり、遊具で遊んだり体育館をかりてドッチボール大会、風船バレー大会等を計画したり子供たちが楽しみながら体の動かし方を学んでいきます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をみて動く力指示を聞いて行動に移す力を身に付けていき、社会生活に対応できる力を身につける。 ・学習・活動の際に休憩や、動いても良い時間をとる事で、集中しやすい環境を作り、最後までやり切る達成感を感じてもらう様に支援します。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達や、他者との関わる中での感情を、言葉で伝えられる様に支援していきます。言葉が出てこない時には、「〇〇言ったらいいんだよ。」等と声をかけていきます。 また、異性との関わりの中で、適切な距離の保ち方、言葉の選び方について年齢に適した活動の中に取り入れて学んでいきます。 友達と関わる中で自分の気持ちを適切に伝える方法についてソーシャルスキルトレーニングで取り組んでいきます。また、相手の表情を見て気持ちを考えられる力を身につけるトレーニングをしていきます。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達との関わりの中で、思い通りにならない事や、感情的になってしまいそうな時に、何がどうした事が嫌だったのかを聞きだす様な声掛けを行い、言葉で伝える様に支援をしていきます。 また、相手にも気持ちがある事を知ってもらい、どうしたら良いのかを、一緒に考え、答えを探してもらいます。 ・勝ち負けのある活動や、協力する活動を行い感情のコントロールや協調的な関わり方を身に付けて行きます。 			
家族支援	事業所での様子を伝えると共に、ご家庭での様子を聞き取り、情報交換をしながら、ご家族様の困り事への助言を行います。	移行支援	ご家族様・他事業所・移行先の事業所を交えて日々様子を伝え、移行先で過ごしやすい環境を整えられるような意見交換の場を設ける。		
地域支援・地域連携	事前に連絡を行い、学校や他事業所での過ごし方を聞き取り、様子を伺い、個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有し、支援について話し合う時間を設けている。 ・支援プログラムをチームで立案し、準備、実行、振り返り、を行っている。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇・長期休暇等には、季節に応じたイベント（プール・外食体験・バラ祭り）を計画、開催。地域の公園や施設への外出、他事業所との交流会の実施。 ・専門の外部の先生を招いて、体の動かし方を学ぶ機会を設けています。また、そのイベントが分かる、1カ月分の通信を毎月作成し、保護者様へ配布。 				